

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催
期末配当金基準日	毎年2月末日
中間配当金基準日	毎年8月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (お問い合わせ先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120－094－777（通話料無料）
公 告 方 法	電子公告といたします。
公 告 掲 載 U R L	http://www.poplar-cvs.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に掲載いたします。)
上場金融商品取引所 証 券 コ ー ド	東京証券取引所市場第一部 7601

- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんので、ご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
 - 除斥期間満了前の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

配当金計算書について
配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになられる株主様にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

【お知らせ】
○中間配当に関する取締役会決議通知はがきの廃止について
当社の中間配当に関するご案内につきましては、昨年までは株主様に「中間配当に関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りすることにより行っていました。が、本年より同はがきを廃止させていただくことにいたしました。今後はこれに代えて、当社ホームページの「IR情報」(<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>) への掲載にてご案内させていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。



平成25年11月発行

コミュニケーションツールのご紹介

当社のホームページでも様々な情報を公開しております。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/>



ポプラグループモバイルサイトに登録するとお得なクーポンプレゼント

登録はこちらから

携帯で▼
<http://n.mobion.jp/poplar>
簡単な情報を入力するだけで会員登録いただけます。

第39期

中間報告書

平成25年3月 1 日から
平成25年8月31日まで



新薬研堀店



当社の強みを活かした 出店戦略を展開してまいります。

経営理念

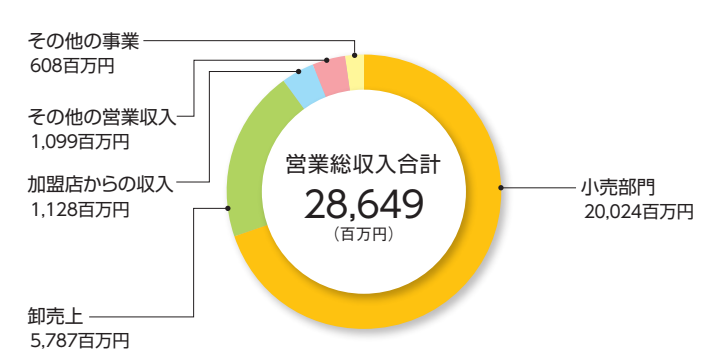
- 1 常に新しい利便性を追求し、お客様に必要とされる企業になる。
- 2 オーナーに信頼され、取引先、株主様に支持される企業になる。
- 3 商業の正道をもって利益を追求する企業になる。
- 4 社員能力の育成をもって企業発展の礎とし、ひとりひとりの生涯設計のできる企業になる。

ポプラグループのストアブランド



ポプラグループは、住宅街やロードサイドなど、郊外立地を中心に展開する「ポプラ」に加え、都市型コンビニエンスストア「生活彩家」、高速道路にゆとりの空間を彩る「ハイウェイ彩家」、関東・関西地方を中心に展開する「くらしハウス」、「スリーエイト」といった複数のブランドを有し、立地・顧客特性に応じた出店でお客様に支持されるコンビニエンスストアチェーンを目指します。

営業総収入の内訳



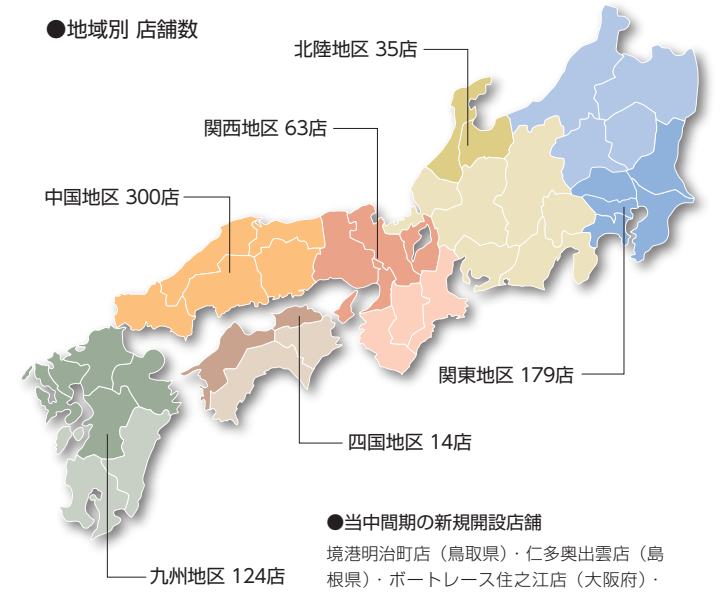
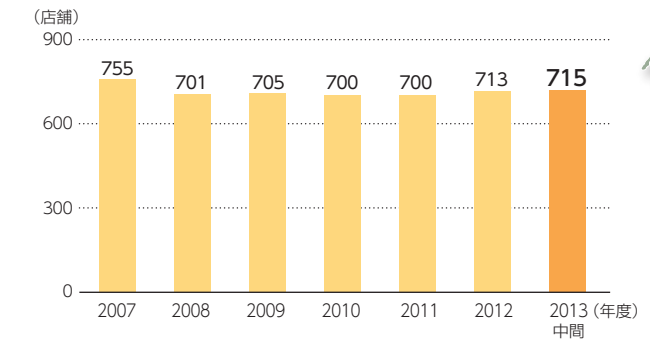
	当中間期実績(百万円)	前年同期比 (%)
小 売 部 門	20,024	101.6
卸 売 上	5,787	91.6
加盟店からの収入	1,128	92.1
その他の営業収入	1,099	108.7
そ の 他 の 事 業	608	102.0
営 業 総 収 入 合 計	28,649	99.3

ポプラネットワーク

当社独自の事業骨格である「製販一貫体制」および当社のフランチャイズシステムの特徴である「売上ロイヤリティ制度」の優位性を活かして、病院や大学、ホテル、駅構内や空港などの限定的な商圈や過疎地域等への出店も進めています。

また、当社の商品・運営ノウハウを小型小売店に提供するリテール支援事業についても積極的に展開しています。

年度別 店舗数の推移



●当中間期の新規開設店舗
境港明治町店（鳥取県）・仁多奥出雲店（島根県）・ポートレース住之江店（大阪府）・庚午南1丁目店（広島県）・クリスタルプラザ店（広島県）・東伯中北条店（鳥取県）・小倉浅野店（福岡県）・熊本託麻台リハビリテーション病院店（熊本県）・天満屋岡山医療センター店（岡山県）・天満屋赤十字病院店（岡山県）・新戸塚病院店（神奈川県）・倉吉米田店（鳥取県）・千葉市役所店（千葉県）・聖光ヶ丘病院店（千葉県）・新薬研堀店（広島県）・県活センター店（埼玉県）・伊勢原店（神奈川県）・倉吉八屋店（鳥取県）・JDI茂原店（千葉県）・仁多亀嵩店（島根県）・八頭西御門店（鳥取県）

新規出店の状況

出店に関しては、開発体制を強化、法人加盟の開拓を推進した結果、病院や企業内、公共施設などの限定的な商圈への出店のほか、前年同期実績を上回る、合計21店舗の出店を行い、中間期末店舗数は715店舗（閉店19店、純増2店）となりました。

下期は、これを上回る28店舗の出店を計画しており、あわせて不採算店の整理・閉店を進めて事業の再構築を促進する計画です。

	前期（通期）	当中間期実績	下期計画
出 店	42	21	28
閉 店	29	19	42
期 末 店 舗 数	713	715	701

立地特性・顧客特性に応じた売場を展開し、 お客様に支持されるコンビニエンスストアを 目指してまいります。

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社第39期中間報告書（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）をお届けし、事業の概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成25年11月



代表取締役社長 目黒 真司

Q1

当中間期の取り組み施策について 教えてください。

当社グループは、立地別・顧客別満足のさらなる向上にむけた戦略の実現を目指す中期戦略「NEXT」の取り組みを加速しています。

■業務改革の状況

当中間期に初期導入が始まったMDスキャンシステムによって、どの時間帯に、どの顧客層が、何を購入

しているかの検証データを瞬時に取り出せるようになりました。これにより営業担当者は個店レベルの売場構成、品揃えの問題をタイムリーに検証できるようになり、立地や顧客層に適合した売場を仮説構築し、機動的に展開できるようになりました。

また、当中間期から本格展開が始まった「中食マックスシーク」は直営230店舗へ運用を拡大、「在庫オプティマイザー」は直営110店舗での展開によって欠品防止および廃棄防止を実現しています。

■商品・サービスの状況

商品面では、立地・顧客層に応じたマーチャндаイジングを推進してまいりました。

売上が好調なカウンターFFにおいては、からあげグランプリで3年連続金賞を受賞した老舗のからあげ専門店「元祖あげもの工房」監修のからあげの発売を実施いたしました。

移動販売車「おまかせポブラ号」については、山陰地区で3台目の稼働が始まり、流通過疎地への出店も含めた地域のお客様の利便性向上や生活サポートを進めております。

また、多様化する決済手段への対応では、交通系ICカードのチャージ機能やクレジットカード決済機能の追加を実施、お客様のさらなる利便性を向上しました。

Q2

当中間期の業績について 教えてください。

中期戦略「NEXT」の取り組みにより、前年同期業績を上回る店舗が増加している一方、競合の影響により低迷する店舗が全体の売上を押し下げ、既存店売上が前年同期を下回ったこと、それにともない製造卸部

門の出荷額が想定以上に減少したことから、当中間期の業績は、チェーン全店売上高43,185百万円（前年同期比4.5%減）、営業総収入28,649百万円（同0.7%減）、営業損失65百万円（前年同期実績：営業利益276百万円）、経常損失54百万円（同：経常利益296百万円）、また、四半期純損失126百万円（同：四半期純利益192百万円）となりました。

Q3

今後の見通しについて 教えてください。

第39期の通期連結業績の見通しといたしましては、チェーン全店売上高82,959百万円（前年同期比4.4%減）、営業総収入54,851百万円（前年同期比2.8%減）、営業損失197百万円（前年同期実績：営業利益211百万円）、経常損失194百万円（前年同期実績：経常利益249百万円）、当期純損失679百万円（前年同期実績：当期純利益5百万円）を見込んでおります。

TOPICS
1企業
情報働く女性をコンセプトにした
こだわりパスタを発売

6月、当社と同じく広島県に本社を置く株式会社広島銀行の女性行員の方々と共同開発したパスタ2品、パスタサラダ2品を、中四国・山陰地区の約320店舗で期間限定で発売いたしました。

働く女性の意見をもとに、健康や美容・食感にこだわった具材やソースを使用し、野菜を多く取り入れた具だくさんのパスタに仕上がりました。

広島銀行女性行員と共同開発

TOPICS
2企業
情報『元祖あげもの工房』監修の
からあげを発売

7月、大分県豊後高田市の全面協力のもと、同市で40年も続く老舗のからあげ専門店『元祖あげもの工房』監修のからあげを発売いたしました。「どれも揚げ立てはおいしいけど、からあげは冷めてから違いが分かる」というこだわりのからあげは、にんにく、生姜の効いた醤油ベースの味付けで、一味唐辛子で味を引き締め、隠し味にごま油を使用し、カリカリの衣に歯ごたえのある肉はほどよくジューシーに揚がっています。

TOPICS
3企業
情報ポプラのPBスイーツが
新しくなりました！

10月、広島県の有名菓子専門店「バッケンモーツアルト」が監修したポプラプライベートブランドスイーツ「HITOTEMA（ひとてま）」（全7品）を発売しました。安心・安全で体にやさしい素材と製法にこだわり、カロリーも控え目なあっさりとした味わいで、毎日でも食べたいと思うおいしさを目指しました。スイーツに使用しているカスタードクリームは新鮮な卵や牛乳にマダガスカル産のバニラビーンズをパティシエが絶妙の配合で仕上げた、他ではまねのできない手間ひまかけた本格派クリームです。

TOPICS
4企業
情報ギフトカードの販売を
開始いたしました！

10月、ポプラグループ全店で、iTunesカードをはじめとする、音楽・アプリ・オンラインショッピング・ゲームなどに使用できるギフトカード（POSAカード）全25種の販売を開始しました。このギフトカードは、Webサイトにクレジットカード番号や個人情報を入力せずに買い物ができる、前払い精算で使い過ぎを防止できる、デザイン性も豊かで贈答用などにも利用できるといった点から、最近注目が高まっています。また、店舗では無価値の状態でも陳列し、販売確定後にカードを有効にするため、在庫負担なく柔軟な品揃えが可能になるという利点があります。



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

四半期連結貸借対照表

科 目	当第2四半期末 平成25年8月31日現在	前期末 平成25年2月28日現在
【資産の部】		
流動資産		
POINT 1 現金及び預金	6,177	2,356
受取手形及び売掛金	162	203
商品及び製品	1,497	1,390
原材料及び貯蔵品	25	22
その他	1,717	1,772
貸倒引当金	△ 8	△ 8
流動資産合計	9,571	5,737
固定資産		
有形固定資産		
自社有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,795	1,780
土地	3,002	3,002
その他（純額）	1,757	1,778
自社有形固定資産合計	6,556	6,562
貸与有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,674	1,561
土地	733	698
その他（純額）	138	109
貸与有形固定資産合計	2,547	2,369
POINT 2 有形固定資産合計	9,103	8,932
無形固定資産	855	820
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,965	3,026
その他	794	690
貸倒引当金	△ 85	△ 89
投資その他の資産合計	3,674	3,627
固定資産合計	13,633	13,380
資産合計	23,204	19,118

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成25年8月31日現在	前期末 平成25年2月28日現在
【負債の部】		
流動負債		
POINT 3 支払手形及び買掛金	5,528	2,653
加盟店買掛金	2,134	1,053
預り金	1,228	1,442
未払法人税等	76	122
賞与引当金	79	44
その他	2,093	1,497
流動負債合計	11,142	6,814
固定負債		
リース債務	1,292	1,401
退職給付引当金	326	293
長期預り金	1,798	1,872
資産除去債務	1,094	1,112
その他	613	573
固定負債合計	5,126	5,252
負債合計	16,269	12,067
【純資産の部】		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	2,650	2,650
利益剰余金	1,826	2,002
自己株式	△ 92	△ 92
株主資本合計	6,795	6,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140	79
その他の包括利益累計額合計	140	79
純資産合計	6,935	7,050
負債純資産合計	23,204	19,118

POINT 1 流動資産

当中間期末が休日であったため、現金及び預金が増加したことなどにより、流動資産が前期末に比べ3,833百万円増の9,571百万円となりました。

POINT 2 固定資産

積極的に出店を進めたことなどから、有形固定資産が増加したことなどにより、固定資産が前期末に比べ252百万円増の13,633百万円となりました。

POINT 3 流動負債

当中間期末が休日であったため、仕入債務が増加したことなどにより、流動負債が前期末に比べ4,327百万円増の11,142百万円となりました。

POINT 4 売上高

売上高の内訳は、当社直営店舗の小売売上高20,024百万円（前期比1.6%増）、フランチャイズ加盟店に対する卸売上高5,787百万円（前期比8.4%減）、その他の事業608百万円（前期比2.0%増）です。

POINT 5 キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローの増加は主に仕入債務の増加額が3,956百万円あったことによるものです。投資活動によるキャッシュ・フローの減少は店舗にかかる有形固定資産の取得による支出が473百万円あったことによるものです。

財務情報の開示について

詳細な財務情報については、当社ホームページの「IR情報」にて開示しております。
下記のURLからご参照ください。

<http://www.poplar-cvs.co.jp/ir/>

四半期連結損益計算書

科 目	当第2四半期(累計) 平成25年3月 1 日から 平成25年8月31日まで	前第2四半期(累計) 平成24年3月 1 日から 平成24年8月31日まで
POINT 4 売上高	26,420	26,617
営業収入	2,228	2,236
売上原価	20,604	20,911
営業総利益	8,045	7,942
販売費及び一般管理費	8,110	7,666
営業利益（△損失）	△ 65	276
営業外収益	37	35
営業外費用	25	16
経常利益（△損失）	△ 54	296
特別利益	161	5
特別損失	105	9
税金等調整前四半期純利益	1	291
法人税、住民税及び事業税	53	52
法人税等調整額	74	46
少数株主損益調整前四半期純利益(△損失)	△ 126	192
四半期純利益（△損失）	△ 126	192

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当第2四半期(累計) 平成25年3月 1 日から 平成25年8月31日まで	前第2四半期(累計) 平成24年3月 1 日から 平成24年8月31日まで
POINT 5 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,585	787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 479	△ 137
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 285	△ 149
現金及び現金同等物の増加額	3,820	500
現金及び現金同等物の期首残高	2,356	3,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,177	3,593

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



会社概要

(平成25年8月31日現在)

社名	株式会社ポプラ
本社	〒731-3395 広島市安佐北区安佐町大字久地665-1
資本金	24億1,013万7,725円
設立	昭和51年（1976年）4月20日
チェーン店舗数	715店舗
従業員数	615名
事業内容	当社は、フランチャイズチェーンシステムによるコンビニエンスストアの経営を主要業務として営んでおります。

株式の状況

(平成25年8月31日現在)

発行可能株式総数	36,160,072株
発行済株式の総数	10,040,018株
株主数	9,027名
第38期期末に比べ561名増加しました。	

大株主（上位10名）

(平成25年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
目黒 俊治	2,708,044 株	27.33 %
ポプラ協栄会	1,677,909	16.93
ポプラ社員持株会	321,231	3.24
株式会社広島銀行	212,960	2.15
日本生命保険相互会社	186,760	1.88
三菱食品株式会社	173,655	1.75
株式会社もみじ銀行	172,934	1.74
東京海上日動火災保険株式会社	159,720	1.61
三菱UFJ信託銀行株式会社	133,100	1.34
株式会社目黒	126,100	1.27

(注) 1. 当社は自己株式134,175株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

主な子会社

(平成25年8月31日現在)

会社名	資本金(千円)	出資比率(%)	主要な事業内容
大黒屋食品株式会社	10,000	100	食品製造卸事業
株式会社キリン堂薬局	12,000	100	ドラッグストア事業
ポプラ保険サービス 有限公司	3,000	(注)100 (73.3)	保険代理店事業

(注) 出資比率には、間接所有分()を含めて記載しております。なお、その内訳は、当社26.6%、大黒屋食品株式会社36.7%、株式会社キリン堂薬局36.7%となっております。

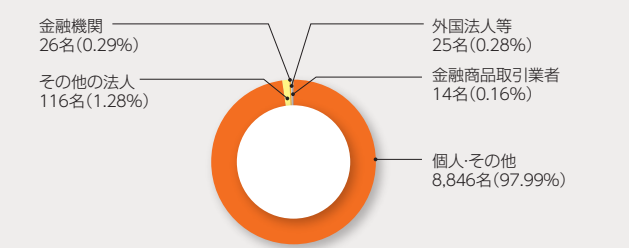
役員

(平成25年8月31日現在)

代表取締役会長	目黒 俊治	常 勤 監 査 役	宮 崎 進
代表取締役社長	目黒 真司	社 外 監 査 役	白 田 耕 造
取 締 役	野 村 一 雄	社 外 監 査 役	大 野 勝 美
取 締 役	市 村 英 世		

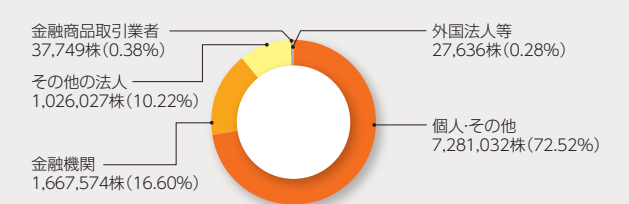
所有者別株主分布状況

(平成25年8月31日現在)



所有者別株式分布状況

(平成25年8月31日現在)



VOL.2

中食の発注最適化システム「中食マックスシーク」本稼働



当社では、昨年実施した第4次POSシステムの導入を機に、弁当・惣菜等、中食の発注最適化システム「中食マックスシーク」の構築に着手し、今年3月から直営店全店での本格運用を開始、また5月からは加盟店への展開を開始しました。

従来、各店舗の発注者が前週トレンドをもとに天候・気候・地域イベントなどの影響を予測して投入数を決定する仮説発注を行っていましたが、廃棄抑制の意識が先行するあまり少なめの発注になりやすく、特に夕方から夜の時間帯に販売チャンスロスが生じることが経営課題となっておりました。

今回導入した「中食マックスシーク」の仕組みは、昨年11月に本格稼働したBIシステム（ビジネスオブジェクト）に蓄積されたビッグデータ＝日次のレシートレベルのPOS情報をもとに独自アルゴリズムによって集客数と顧客購入率から総食数を予測し、これをもとに商圈毎の販売構成比に割り振ることで単品の購入数を算出するものです。

その他にも、マーチャンダイジングや在庫の最適化を実現する仕組みの稼働も始まっています。

ポプラは今後もお客様ひとりひとりにご満足いただける店舗を目指して、新たな仕組みづくりを行ってまいります。